

第21回信濃川中流域水環境改善検討協議会 次第

日時： 平成22年5月26日(水)15:10～15:30

会場： クロス10 大ホール(十日町市本町6丁目)

1. 開 会

2. 挨 拶

3. 議 事

(1)宮中取水ダム試験放流検証委員会における検討の概要、意見の報告について

(2)その他

4. 閉 会

宮中取水ダム試験放流に伴う検証の考え方・進め方概要

試験放流計画一覧

期 間	放 流 量 (m ³ /s)				
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
4月 1日～ 7月19日	50.0	50.0	40.0	4月1日～11月30日は40.0以上（流量変動に配慮した放流） 12月1日～翌3月31日は40.0	4 年目までの試験放流結果を踏まえた放流。
7月20日～ 9月10日	80.0	80.0	60.0		
9月11日～ 11月10日	100.0	80.0	60.0		
11月11日～ 翌3月31日	50.0	50.0	40.0		

注) 目的に応じて方法・期日等を定め、可能な期日に放流量を120m³/s以上とするなど、必要な試験放流を行うことがある。5年後の許可の更新に当たっては、調査検証の結果を踏まえて申請する。

平成22年度試験放流計画

放流量の切替方法

イ 50.0m³/sから80.0m³/sへの切替時

洪水吐ゲート进行操作し、7月19日の17時までに試験放流量を80.0m³/sに変更するものとする。

ロ 80.0m³/sから100.0m³/sへの切替時

洪水吐ゲート进行操作し、9月10日の17時までに試験放流量を100.0m³/sに変更するものとする。

ハ 100.0m³/sから50.0m³/sへの切替時

11月11日の9時以降に洪水吐ゲート进行操作し、試験放流量を50.0m³/sに変更するものとする。

なお、放流量の変更は、下流河川の水位の急激な変動を生じないように行うものとする。

放流設備及び設備別放流量

期間	放流量 (m ³ /s)	設備別放流量 (m ³ /s)		
		魚道	呼水バルブ	3号～10号 洪水吐ゲート
許可日～7月19日	50.0		8.0	42.0
7月20日～9月10日	80.0		8.0	72.0
9月11日～11月10日	100.0		8.0	92.0
11月11日～翌3月31日	50.0		8.0	42.0

※ 試験中止の基準となる流入量は、取水量がかんがい用水供給の水位維持に必要な流量(31.416m³/s)を下回らない流入量とする。

宮中取水ダム試験放流に伴う検証の内容 (平成22年度:1年目)について概要

※現地調査は東日本旅客鉄道(株)、解析・評価は北陸地方整備局信濃川河川事務所を基本

項目	調査内容	調査時期	調査の目的等
河川形態	航空写真判読	9/11～11/10の間ならびに 11/11～12/31の間にそれぞれ1回	各流量の瀬、淵等河川形態の状況を確認する。
河川水温	水温実測	夏季の高水温期(7/26～9/5)	夏季の流量における水温を確認する。
付着藻類	現地調査	夏季の間に3回	夏季の流量における付着藻類の異常繁茂の状況を把握する。
底生動物	現地調査	夏季に1回	底生動物の生息状況を把握する。
魚類の生息及び遡上・降下	生息・生育状況調査	夏季、秋季にそれぞれ1回	魚類の生息・生育状況を把握する。
	生息場の状況調査(濡筋)	50m ³ /sならびに100m ³ /sの試験放流量が安定する時期にそれぞれ1回	魚類の移動のために必要な水理条件(水深)が確保されているかどうかを確認する。
	アユ生息・生育状況調査	6月初旬に1回、7/20～9/10の間に1回	アユの生息・生育状況を把握する。
	サケ遡上調査	9/11～11/10	サケの遡上数を把握する。
河川景観	写真撮影	6月～11月間で各流量毎に1回	各流量の河川景観を把握する。
河川水質	水質調査	毎月1回	各流量の河川水質を把握する。 ※信濃川河川事務所実施
河川利用	河川利用状況	夏季(7月の最終日曜日、7月の最終日曜日の翌日)、秋季(11月3日)、冬季(1月の第2月曜日)	釣りやその他の河川の利用実態を把握する。
	釣場適性把握	夏季の釣りの最盛期に1回	釣り場として利用可能な範囲を把握する。
	舟下り適性把握	夏季に1回	河川利用の一形態として舟下り(ラフティング等)の適性を把握する。